

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		07 01 04	中期総合計画主要施策番号		2-06	担当課	部・課	商工労働部産業政策課	
事業名		中心市街地商業活性化基金事業					内線	2915	
							E-mail	sansei@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	・中小商業の活性化を図り、中心市街地に賑わいを取り戻すことを目的に商工会・商工会議所等が実施するソフト事業を、資金面から支援する。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・商業施設が郊外へ移り、中心市街地の空洞化が生じている。							
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・後継者不足により商店の廃業が増え、商店街の衰退が進んでいる。 ・魅力あるまちづくりに対する合意形成が進んでいない。							
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・空き店舗の活用等により地域コミュニティの活性化を図る必要がある。 ・商店街の持つ魅力を再認識し、中心市街地再生のための合意形成を図る必要がある。							
	事業内容	県中小企業振興センターが「中心市街地商業活性化基金」を造成し、商工会・商工会議所等が行う以下の事業に対する助成事業を実施するに当たり、県は基金運用益と同額の補助金を県中小企業振興センターに交付する。(補助率:10/10以内) 合意形成事業 空き店舗対策事業 広域ソフト事業 事業設計・調査事業							
実施期間	H11 ~ H20		根拠法令等	長野県中心市街地商業活性化推進事業実施要領					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	中心市街地の活性化を図るための合意形成等を推進する。		県中小企業振興センターが助成を決定した3団体の事業において、合意形成に向けた委員会や説明会の開催、調査等が円滑に実施される。			・千曲商工会議所・・・商店街の課題を検討するワークショップ等を開催(10回開催) ・上田商工会議所・・・海野町フードサミットの開催 ・(株)飯田まちづくりカンパニー・・・りんご並木まちづくりネットワーク会議の開催(9回開催)		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	3,000	2,660		国庫・県単 県単		
	決 算 額 (B)		千円	3,000	2,174		実施方法 補助		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	3,000	2,174		歳出節別内訳等		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.10	0.10		・補助金:2,174 (単位:千円)		
	概算人件費 (C)		千円	714	715				
概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	3,714	2,889					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	商工団体等が実施する事業への助成		件	4	3				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明 (廃止)			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・基金の存置が平成21年度中で終了するため、平成20年度をもって事業を廃止する。						